（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上高地手荷物配送の利用拡大と滞在満足度向上事業
事業主体 （連絡先）	上高地観光旅館組合 TEL090-6395-7410
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大、(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,355,000 円（うち支援金：2,516,000　円）

事 業 内 容

① 上高地手荷物配送サービスの利用者向けアンケートおよびデータ収集
JTB が実施する上高地手荷物配送の予約者に対してアンケートを実施しすることでお客様の導線や利用者層を確認し、今後のサービス拡大に向けた基礎情報の収集を行った。

② 外国人が安心して食べられるヴィーガン弁当を地域事業者と連携し開発しテスト販売を行う。
MAGMAG と連携し松本市内の弁当業者すのろくの監修のもと弁当を試作。容器や箸袋などにもこだわり外国人が目でも楽しめる弁当を開発し、沢渡でのテスト販売を実施

【手荷物窓口】

事 業 効 果

【目標・ねらい】

・手荷物配送
①アンケート回収数 2,000 件
②利用者数 4,000 件
・ヴィーガン弁当開発
③200 個の販売目標
④アンケート 200 件の回収

①今年度は昨年に比べ約 4 倍増の 8 月以降で 4,902 件の利用があった。アンケートは 296 件回収できた。それにより上高地の滞在満足度が高まったと想定される。
またお客様の導線としては松本・高山が多く手荷物配送を拡大するのであればその２か所と上高地をつなぐ新たなルートの設定が必要なことも分かったが、コストとのバランスも考えると現状の利用数では難しいため、上高地内での一層の利用拡大・認知度上昇を目指していく
②秋のヴィーガン弁当の開発が出来た。但し販売に関しては上高地での販売が出来なかったため、急遽沢渡バスターミナルでの販売になった影響もあり 52 個の販売にとどまり、アンケートも 15 件のみの回収となった。また日本人への販売が約半数とヴｨｰｶﾞﾝを対象にしたものの、狙った層への販売につながっていない。

※自己評価【B】

【理由】
利用拡大が目的の一つであったため事業の効果が今後も継続される可能性が高い。一方でヴィーガン弁当は利用者がそこまで多くないことも想定されるため一定の需要はあるもの、手荷物配送の利用拡大の手段としては適当ではなかった。

今後の取り組み

来年度も継続して JTB との連携で手荷物配送サービスをされたに発展させていく。
ヴィーガン弁当についてはリクエスト販売という形で地域のニーズがあれば販売していく形式で対応していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある